



11月1日より当校も含め、市内の小中学校、特別支援学校のホームページが新しくなりました。こちらもぜひご覧ください。

## 当たり前の力

特別支援教育コーディネーター

令和6年能登半島地震の災害で被災された方々、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

地震の不安も残る中、予定通り開催された第100回箱根駅伝。懸命にたすきをつなぐ若者の姿に、私は勇気と明日への力をもらいました。十数年前、総合優勝を久しぶりに果たした大学の駅伝監督はインタビューで、「わたしたちは1年間当たり前のことを当たり前にするのを努力してきた。同じ時間に部員全員で食事を摂る、顔を上げて挨拶をする、靴を揃える、風邪を引かないように予防に努める…。厳しい練習もさることながら、日常生活の『当たり前』を徹底したことがチームの力となり、優勝につながった。」という話をされていました。

気持ちが焦っている時、ミスが続いた時、イライラしている時…。一呼吸を入れ、当たり前を丁寧に行おうと自分に言い聞かせる。当たり前を当たり前でできる日常に感謝し、当たり前を丁寧に行う。これらのことは、きっと子どもたちが将来を生き抜いていくための大きな力となることでしょう。

本年も、子どもを中心として周りの関係機関がつながることにより、子どもが成長できるよう特別支援教育コーディネーターとして尽力して参ります。変化の激しい社会、何が起こるか分からない昨今であるからこそ、当たり前を意識した毎日を送りたい、と強く感じています。どうぞよろしく願いいたします。



## 新春校内書き初め大会

国語部

1月17日(水)、書家の小倉先生を講師にお招きして新春校内書き初め大会を行いました。始めに、講師先生に学部ごとに大書を揮毫(きごう)していただき、続いて子どもたちが書き初めに臨みました。講師先生の書く姿をわき目もふらず集中して見つめる子どもたちの姿がとても印象的でした。終了後、子どもたちからは、「アドバイスをもらって上手に書けた!」「友達と一緒に楽しく書けた!」と充実した声が聞かれました。年の初めに貴重な体験ができました。



小学部への揮毫「龍」



中学部への揮毫「挑戦」



高等部への揮毫「詩+力」

1/11(木)~16(火)

# 「実り de Art」(校内作品展)開催

## 小学部



小学部は「かまくらでみんななかよし」の共同作品、「私のカップケーキとジュース」「みのり de べんとう」の立体作品、「マール世界のさかなたち」の平面作品を展示しました。粘土や木の実を自分のイメージする食べ物に見立てて、楽しく制作しました。下学年はスタンプ、上学年は手形で雪や魚を表現しました。



## 中学部



オープン粘土という特別な樹脂が混じった素材で丸皿を制作しました。お皿に木製スタンプをたくさん押して模様にししました。白化粧粘土が模様のくぼみを強調してとてもきれいです。

共同作品は「いじめ見逃しゼロポスターコンクール」で2年連続の銀賞を受賞した作品を壁面に飾りました。鮮やかな夏空に中学部生徒たちの笑顔の花が輝いています。



## 高等部



高等部は、学年ごとに「自分の手」「心の中の花」「自由に描いてみよう」をテーマにした絵画作品、「コルクボード」「和風」「宿泊学習の思い出」の立体作品を展示しました。どの作品も生徒の実態に応じた手法で、じっくりと時間をかけて制作に取り組みました。生徒一人一人の個性と熱意が感じられる見応えのある作品が完成しました。

